

とやま

県公連会報



第354号

令和7年12月19日
富山県公民館連合会
富山市舟橋北町7-1
富山県教育文化会館内
TEL・FAX(076)444-5777
E-mail tomico7@iaa.itkeeper.ne.jp

風船飛ばし



地元小学校創立150周年記念として、地元住民・小学生に呼びかけ航空写真と風船飛ばしを行いました

フェスティバル



公民館フェスティバルでは、名産里芋汁の販売や子ども縁日などを行い、大変にぎわいました

餅つき体験



昔ながらの杵と臼を使い、せいろで蒸した地元産もち米で毎年餅つきを行っています

巨大段ボール迷路



チャレンジ企画として毎年テーマを変えて取り組んでいます。今年は巨大段ボール迷路作りに挑戦！

表紙写真

交流から生まれる賑わいの拠点

上市町立南加積公民館

南加積地区は、市街地の北東部に位置し、約800世帯が暮らす田園地帯です。

地域内には富山県天然記念物「立山寺参道トガ並木」があり、年間を通じて多くの観光客が訪れています。公民館は地域の交流拠点として、小学生と保護者による餅つき体験やケーキ作り、高齢者が集う交流会やフェスティバルなど、年間を通して笑顔と賑わいがあふれる施設です。

また、区長会や社会福祉協議会、小学校PTAなど地域団体との連携を大切にし、幅広い世代がつながりを深める場となっており、世代を超えた交流が生まれる温かい拠点です。

〈本号の主な内容〉

- 2面 ● 第19回富山県公民館大会
 - ・会長・県教委挨拶
 - ・講演概要
- 3面 ● 委嘱公民館の発表
第53回富山県社会教育大会
- 4面 ● 公民館主事・指導員等現地研修会
第47回全国公民館研究集会
東京大会
- 5面 ● 公民館館長研修会
 - ・講演概要
 - ・委嘱公民館の発表
- 6面 ● わが町の公民館活動
 - ・砺波市立東山見公民館
 - ・朝日町立大家庄公民館
- 7面 ● わが町の公民館活動
 - ・中太閣山コミュニティセンター
 - ・富山市立柳町公民館
- 8面 ● 表彰館紹介
 - ・朝日町立笹川公民館

第19回富山県公民館大会 開催

9月11日(木)、第19回富山県公民館大会は、約270名が参加して、富山県教育文化会館ホールで開催された。

開会にあたり中西会長から、月刊公民館7月号に金山コミュニティセンター実践事例が掲載されたことの紹介の後、「富山県公民館の活躍の背景には、東陸公民館富山大会をハイブリッドで取り組んだ団結力や県公連の動画配信、そして、県教委と連携して取り組んでいる公民館deつながるモデル事業等がある。」との挨拶があった。

富山県公民館連合会の表彰式に続いて、来賓の新田知事代理の小杉健理事・教育次長から「私たちを取り巻く社会は、自然災害の増加や人口減少、デジタル技術の進展など、急速に変化しています。こうした時代だからこそ、地域において人と人が語り合い、学び合う場としての公民館の役割は、ますます重要になっています。公民館の基本的な3つの機能『つどう』『まなぶ』『むすぶ』を大切にしながら、地域コミュニティの中心として、今後さらに発展していくことを心から期待しております。県では、政策の中心にウェルビーイングを掲げ、社会経済情勢の変化を踏まえ、県民一人ひとりの豊かで幸せな暮らしの実現を目指しています。そのために、『未来に向けた人づくり』と『新しい社会経済システムの構築』の2つを柱とした新たな総合計画の策定に取り組んでいます。ウェルビーイングの向上には、人と人、人と地域がつながることが不可欠です。こうした取組みとともに、皆様には、本日の大会を契機として、多様な人々がつながり、共に学び合う地域づくりに一層のご尽力を賜りますようお願い申しあげます。」との祝辞があった。

【講演】

1. 演題

「ナトコ映画『公民館』(1950年)から地域の未来図を考える」

2. 講師

千葉大学 名誉教授 長澤 成次 氏



挨拶する中西会長



挨拶する小杉理事・県教育次長



講演する長澤氏

3. 講演内容(要旨)

(1) 私とナトコとの出会い

① 1冊の古本との出会い
1953年発行「USIS(米国情報局)映画目録」の中で1950年12月29日封切16ミリ「公民館」の解説文「カメラは大津市公民館、福島県の田舎町にある公民館、

飛騨の山奥の公民館、瀬戸内海の離れ小島の公民館…等、日本全国各地の公民館を次々に訪ねます。これらの公民館は、いずれもその町の人たちの集会場であり、レクリエーションや教育の中心として活動しているのです。」に出会う。

② 映画「公民館」の発見

- ・2009年3月: 東京国立近代美術館フィルムセンター(現国立映画アーカイブ)にて所蔵を確認
- ・千葉県公民館職員等と鑑賞会
- ・全公連YouTube「月刊公民館チャンネル」でアップ

(2) 富山県とナトコとの出会い

- ・1949年連合軍総司令部からナトコ映写機が20台貸与
- ・1952年「移動公民館」(みづほ号・ありそ号・あかつき号)がナトコ映写機で映写会を開催

(3) CIE(総司令部民間情報教育局)映画「公民館」の鑑賞(32分)

(4) 映画「公民館」から地域の未来図を考える

- ① 富山県公民館活動(月刊公民館掲載)から学ぶ
 - ・滑川市滑川東地区公民館
 - ・富山市立神保公民館
 - ・射水市金山コミュニティセンター

② 地域の未来図の課題とは何か

- 教師の果たした役割、女子参政権、受講生一人の講演会、与謝野晶子「君死にたまふことなかれ」、公民館音楽団等

③ 映画「公民館」最後のナレーション

「公民館というものは、あの灯台の火のようなものでしょうか。人々にとってなくてはならないもの、生活に光明を与えるものです。」

※富山県公民館連合会のホームページで、
講演の動画を配信していますのでご覧ください。



表彰に輝いた方々

【富山県公民館連合会表彰】

・優良自治公民館

高岡市和田上町自治公民館

・永年勤続表彰(20年以上)

高林 洋恵 井口 淳一 梅原 雅美 中山 京子 堀口 瞳子 筒井 桂子

・永年勤続表彰(10年以上)

宮崎 香 清水 正美 地崎 誠治 奥野 貞昭 大庭 恵理 近藤 美雪 南 知美

山本 紀子 松岡みゆき 阿部 一明 佐々木與志 中野千恵美 江成都紀子 青島 和夫

立川 証 山本 直子 高島 博美 水口 美枝 雉井 幸治 山本 秀樹 吉田 伸

米澤千鶴子 水島 忠彦 竹内 卓

令和6年度公民館活動研究委嘱公民館の実践発表

より豊かな公民館活動を求めて

砺波市立南般若公民館 元館長 山本 一弘 氏

1. 主題について

南般若地区の少子化・高齢化が急激に進み、公民館活動を支える推進委員も減少してきたが、公民館事業の変換という考え方から公民館の役割を見直し、7自治会の全面的な協力のもと新体制で行うこととした。



発表する山本元館長

2. 実践事例

公民館の役割として、夏祭りを中心に「やりたい人を見つける」そして参加者が集まらない行事には協力団体と「つなぐ」ということから始めた。夏休みには、2、3週間かけて月曜日から金曜日に「小学生すくすくのびのび教室」を日替わりでおこなった。児童クラブや子育てサークルなどの協力団体の他に、元教師や特技をもつ方など

の協力で、「工作教室」「鉢植え体験」そして独自でやっていた「ペタンク」「カローリング」「えんじゅら踊り・唄」「前句」の教室が入ることで体験の場が増え、その教室の参加者も増やした。また、「子ども和太鼓教室」の発足には、公民館で参加者を募集して教室を開設し、夏まつりや公民館まつりで披露した。

3. 成果と課題

公民館の役割であった「企画・運営」の協力を地域に求め「連携」を強化することで、地域みんなでつくり上げることができた。また、発想の転換で「人と人」「行事と行事」を上手くつなぐことで事業が豊かになった。

子どもたちが、地域の良さを知ることで地域への愛着心が育ち、誇りをもって地域に貢献できる大人になっていくことを期待する。

※富山県公民館連合会のホームページで、実践発表の動画を配信していますのでご覧ください。



「人と人との絆が深まり 豊かに生きる地域社会をめざして」 第53回富山県社会教育大会 開催

第53回富山県社会教育大会は、7月19日(土)県社会教育振興協議会に加盟する11団体から約320名が参加して、婦中ふれあい館で開催された。公民館連合会からは72名の参加があった。

開会にあたり、中西会長が挨拶し、蔵堀祐一副知事、永森直人県議会副議長から祝辞があった。

表彰式では、各社会教育団体の活動に長年にわたり貢献してきた方々に、蔵堀副知事から感謝状が贈られた。本会からは、塚八栄治前副会長が表彰を受けた。

その後、昨年県社会教育振興協議会が50周年を迎える、県功労表彰を受賞したことを記念したパネルディスカッションがあった。

【パネルディスカッション】

1. テーマ

「本県社会教育の歩みと今後の展望」

2. パネリスト

富山県PTA連合会 会長 沼田 秀和氏
日本ボーイスカウト富山県連盟
理事長 松谷 英真氏
富山県社会教育委員連絡協議会
会長 山西 潤一氏

3. コーディネーター

富山県公民館連合会 会長 中西 彰氏

4. 内容(要旨)

- (1) 県社会教育振興協議会50年の歩み
 - ①設立の趣旨
 - ②加盟団体一覧
 - ③社会教育大会講師一覧
 - ④設立50周年と県功労表彰



パネルディスカッションの様子

(2) 各団体の活動状況

①富山県PTA連合会

- ・昭和25年富山県PTA連絡協議会創立
- ・行政への要望書の作成・提出・検証
- ・能登半島地震による義援金を活用した事業等

②日本ボーイスカウト富山県連盟

- ・昭和25年富山県連盟結成
- ・ボーイスカウト県大会
- ・指導者研修 等

③富山県社会教育委員連絡協議会

- ・昭和38年設立
- ・社会教育委員相互の連絡提携
- ・家庭教育・青少年の健全育成と地域活性化等

(3) 未来を見据えた活動

- ・子どもは家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く
- ・生きる力と活きる力を育てる
- ・学習者から行動する地域の担い手へ



発表する大倉氏

実践発表では、富山県図書館協会事務局長の大倉千礼氏が「つながる、つなぐ図書館を目指して～富山県図書館協会の取組～」と題して、富山県婦人会副会長の岡部紀子氏が「安心安全な地域創造に努めよう～日々の活動の中から～」と題してそれぞれ実践発表を行った。

最後に、富山県ふるさとづくり連絡会副会長の福田恒氏が大会宣言を提案し採択された。



発表する岡部氏

令和7年度公民館主事・指導員等現地研修会

砺波市で開催 講話、施設見学、現地見学を通して研修を深めました

10月9日(木)、現地研修会は、県東部から46名が参加して開催された。

開催にあたっては、砺波地区の公民館主事・指導員評議員会の皆さんのご協力のもと行われた。

各地区を出発したバス2台は、午前9時40分頃に、最初の研修施設である砺波市立梅檀野公民館にそれぞれ到着した。開会式に引き続き、研修Ⅰでは、北島昌幸前館長さんに「ずっと住みたい地域をめざして」と題して講話をいただいた。

その後、施設を見学し、美味しい「となみの弁当」をいただき、公民館を出発した。



全体研修会の様子



講話する北島前館長

研修Ⅱの現地研修会では、以下の3カ所を見学した。

①チューリップ四季彩館

- ・世界で唯一チューリップが1年中咲く花園
- ・球根の秘密や伝来の歴史、未来の姿を体感

②砺波市出町子供歌舞伎曳山会館

- ・きらびやかな3基の曳山を全方向から見学
- ・芝居小屋風ホールで子供歌舞伎の映像鑑賞

③砺波市立砺波図書館

- ・大屋根の下のワンルームの図書館

来年度は、滑川市で現地研修会を開催する予定です。多数のご参加をお待ちしています。



チューリップ四季彩館の見学



出町子供歌舞伎曳山会館の見学

第47回全国公民館研究集会東京大会

大会テーマ 「ミライにつなぎひろげる公民館—公民館に新たなイノベーションを！—」

第47回全国公民館研究集会東京大会が、11月12日(水)13日(木)に東京国際フォーラムで開催された。

富山県からの参加者数は、63名であった。

開会行事では、主催者を代表して中西彰全国公民館連合会会長(富山県公民館連合会会長)が、「近年の取組みから2点に絞ってお話しします。

1点目はコロナ禍です。ガイドラインに沿ってようやく再開された活動を少しでも公民館らしくしたいということで、オンラインと対面を合わせたハイブリッドによる大会や研修の開催、Zoomを用いた公民館同士の交流など、デジタル技術は今も進化しています。2点目は、公民館の変容です。施設の老朽化、複合施設化、首長部局への移管、担当職員の知見の継承問題等の諸課題を乗り切る努力が求められています。」と挨拶した。

表彰式では、中西会長から表彰者の代表者に表彰状が授与された。

その後、以下のプログラムが実施された。

【基調講演】

1. 演題 「地域のミライをひらく公民館」



挨拶する中西会長

コミュニケーションデザイナー 山崎 亮 氏

【シンポジウム】

1. テーマ「ミライにつなぎひろげる公民館活動」

2. コーディネーター

大正大学 教授 牧野 篤 氏

3. パネリスト

元文科省生涯学習政策局長 河村 潤子 氏

コミュニケーションデザイナー 山崎 亮 氏

那覇市若狭公民館 館長 宮城 潤 氏

2日目は、以下のプログラム等が実施された。

【多様な学びをつなぐ対談】

対談: 大正大学 教授 牧野 篤 氏

文化活動家 アサダワタル 氏

【ムービー「若者が地域のミライをひらく」】

監督: 映像作家

栗山 宗大 氏

2日間の東京大会

の映像は、全国公民館連合会のホームページの「月刊公民館

チャンネル」で、令和8年2月から視聴

できます。是非、ご覧ください。



シンポジウムの様子

表彰に輝いた方々

【全国公民館連合会表彰】

・優良職員表彰 水井 勤

・永年勤続表彰(15年以上)

加藤 美加
出村 忍

前田真由美
大浦まゆみ

長谷川恵理子

中島 昭雄

瀬本 純雄

扇谷 寛之

「これからの公民館の役割や地域社会との多様な連携のあり方を考える」 富山県公民館館長研修会開催

11月6日(木)、県公民館館長研修会は、167名が参加して新川文化ホールで開催された。

開会にあたり、来賓の県教委生涯学習・文化財課の河原課長から「これからの時代に対応した持続可能な地域づくりには、社会教育を通じて人ととの『つながり』や『協力』を育むことが重要です。県では令和5年度より『公民館 de つながるモデル事業』を展開し、今年度は11館、3年間で延べ32館にご参加いただいている。このモデル公民館を中心に、新しい公民館のかたちを模索する取組みが広がり、SNSを活用した情報発信にも積極的に取り組まれています。地域の魅力や活動の様子が、より多くの方々に届くようになってきています。こうした挑戦においては、館長の皆様が率先して行動されることはもちろん、主事の方々を支え、導いてくださることが、公民館が未来へ向けて歩みを進めるための大切な原動力となっていると感じております。これからの公民館の役割について、皆様と共に考えを深める貴重な機会となることを期待しております。」との挨拶をいただいた。



激励の挨拶をする河原課長

【講演】

1. 演題

「『べらぼう』時代の公民館活動
－庶民の雅楽と明治天皇のほほえみ－」

2. 講師

雅楽団体「洋遊会」名誉会長

高岡市立福岡公民館 館長 上野 慶夫 氏

3. 講演内容(要旨)

(1) 雅楽とは

- ・奈良、平安時代貴族社会のクラシック音楽
- ・現存する世界最古、最も長命な音楽
- ・雅楽から出た言葉：「音頭、頭取」「やたらに」「二の句が継げない」等

(2) 福岡町の雅楽、洋遊会

- ・菅笠屋たちの高雅な文化へのあこがれ等から始まる。
- ・江戸時代から始まった洋遊会の活動は、公民館活動のようである。
- ・明治11年の明治天皇巡幸の際、福岡町のご休憩所で演奏され、明治天皇にお褒めを賜り、菊のご紋章入り幟の使用を許される。



講演する上野館長

(3) 雅楽活動の面白さ

- ・和音、定型的リズムの存在
- ・古典文学や行事とのかかわり（源氏物語、平家物語、大嘗祭）

(4) 雅楽演奏

- ・洋遊会理事 山田美恵氏と雅楽演奏披露

研修2 令和6年度公民館活動研究委嘱公民館の実践発表

つながれ !! 一大門～笑顔輝く町づくり～

射水市大門コミュニティセンター総務・広報部会長 高野絵理子 氏
生涯学習推進委員 安元 恵子 氏

1. 主題について

高齢化が進む中、安心して暮らせるよう見守り・助け合いができる地域づくりが必要。世代を越えた交流の場の在り方を追求したい。

2. 実践事例

庄川水辺の交流館を活用した「水辺のだいもん市」を、サークル活動、地域団体イベント等につなぎ、チラシなどを作成・配布し大門地域振興会のブログにも掲載した。

また、三世代交流野菜作りは、高齢者学級の皆さんの指導を受けたり、昆虫採集などの活動とつないだりすることで、地域人材の活用につながった。地域素材の発掘として、大門鮎まつりで地元の鮎を使い、鮎のつかみ取りや串焼き体験を行い、鮎の伝統料理レシピ集を作り全戸配布をした。

3. 成果と課題

各種組織や事業との連携により交流の場が生まれ、つながりが強くなった。様々な活動を協働で、できる範囲の工夫を加え継続していきたい。



発表する高野氏・安元氏

盆踊り研究会の活動

立山町立利田公民館 指導員 近藤 博氏
盆踊り研究会代表 山口 幸子氏

1. 主題について

伝統芸能である盆踊りの継承と世代を越えた地域交流の活性化を行っていきたい。8つのサークルがある中で、盆踊り研究会を取り上げた。

2. 実践事例

7名の部員で成り立つ盆踊り研究会は、高齢化し後継者も少なくなり、子どもたちに盆踊りを伝承するために、イベント時には地区の皆さんに協力を頼んだ。



発表する近藤氏・山口氏

また、授業の一環として小学3～6年生の児童と盆踊りと一緒に練習し、子どもたちが選曲した曲でも踊りを楽しんだ。敬老会では、参加者に楽しんでもらえるよう、かつらや衣装で、笑いをとりながら踊った。

盆踊り大会は、豪雨でも公民館大ホールで開催し、園児・児童・地区の皆さんとの踊りの輪が広がった。

3. 成果と課題

今後も「えんやら踊り」と「川崎踊り」を中心に盆踊りを伝承し、盆踊りを通じて、さらにこの利田を盛り上げていきたい。

※富山県公民館連合会のホームページで、
講演と実践発表の動画を配信しています
のでご覧ください。



公民館活動で地区の交流を

砺波市立東山見公民館

東山見地区は、庄川扇状地の扇頂に位置する砺波市庄川町の金屋・前山・小牧・湯山・横住・落シ・隠尾・名ヶ原・湯谷の9町内からなる地域で、約650世帯・1,670人が暮らしています。地区内には小牧ダムや合口ダム、金屋石採掘跡があり、庄川水記念公園では「桜まつり」「水まつり」「金屋ゆずまつり」が開催されます。さらに、庄川大仏や名水百選「瓜裂清水」、庄川温泉郷など観光資源も豊富で、多くの来訪者を迎えてています。

東山見公民館は独自の建物を持たず、令和6年



ミニ門松づくり

8月からは旧東山見保育所（現・庄川児童館）の一角を拠点として活動しています。限られた環境の中でも、地区民がふれあい、学び合えるよう工夫を重ねています。

地区の名所を巡り歴史を学ぶ「歩こう会」、3世代交流を目的とした「ペタンク大会」、納涼祭での竹馬・水鉄砲・竹とんぼづくりを楽しむ「かぐやの竹利用活動」、レクリエーション大会やバス旅行など、多彩なイベントを実施しています。近年は竹灯籠づくりやミニ門松づくりが人気を集めています。また「ふれあいまつり」では敬老会や趣味の作品展を開催し、プロ・アマ問わず絵画やお盆、ガラス作品などが出品され、世代を超えた交流の場となっています。一方、市主催の「二十歳の式典」とは別に、地区でも「二十歳を祝う会」を開催してきました。令和7年からは二十歳のみなさんの意見を尊重し、旧庄川町4地区合同での開催へと発展しています。

東山見公民館は、これからも地区民のつながりを深め、笑顔あふれる地域づくりを目指して活動を続けていきます。

わが町の公民館活動

朝日町立大家庄公民館

時代の流れ、社会の変化に柔軟に対応する公民館を目指して

大家庄地区は、朝日町の中央に位置し、約570世帯、1,600名の方が暮らすのどかな田園地帶です。北アルプスの山々を背景に、舟川べりの桜並木、チューリップ、菜の花の美しい景観を楽しむことができる「春の四重奏」は、大家庄地区にあります。

公民館の活動は、科学工作教室などの「芸術・文化教室」、シニア対象の「成人学級」、ホタル観賞会などの「ふるさと再発見事業」、和太鼓や地域の伝統芸能などの「伝統文化・芸術の継承活動」があります。近年、参加者の減少や固定化、それに伴う活動の低迷という課題に直面し、参加者の対象を地区外にも広げたり、他の公民館や各種団体と連携を図ったりなど、事業の見直しを進めています。

当公民館の特色ある活動としては、古来より地域に伝わる「田植祝唄」の伝承・保存活動があります。しかし、コロナ禍後会員が激減し、小学生に至っては1名にまでなってしまいました。

そこで、町の地域教育サービス「みんまなび」

のコンテンツに加えたり、放課後児童クラブで体験会を開いたり、小学校の協力を得て音楽科の授業の中で、「田植祝唄」を子供と共に学ぶ機会を設けたりなどしてきました。こうした取り組みによって、今は小学生の会員も徐々に回復してきており、継承活動にも活気が戻りつつあります。

これからも、時代の変化に適切に対応し、生涯学習の推進拠点としての役割を担う公民館活動に努めていきたいと考えています。



小学校4年音楽科での「田植祝唄」の様子

談話コーナーによる ふれあいの場づくり

中太閣山コミュニティセンターは、太閣山ランドに近い緑豊かな薬勝寺池公園のほとりにあります。

かねてから、コミュニティセンターは主に地域団体が使用していましたが、個人にも開放したいと思っていました。令和6年4月にリニューアルオープンする際、地域の皆様が気軽に立ち寄り交流できる場所にしたいという思いから談話コーナー、キッズスペースを設けることとしました。カフェがあればよいとの声もあり企画することにしました。ところが、カフェの運営は誰が担当するかという話になり困りました。幸い、第3層生活支援コーディネーターの方々が協力してくれることになりました。談話コーナーをカフェスペースとして毎月第1・3水曜日の10時から15時までオープンしています。カフェの名前は地域の皆様に親しんでもらう意味も込めて「ふれあいカフェ♡」としました。開店するにあたり、第3層生活支援コーディネーターの方々が備品の準備はもとより、コーヒー豆の選定や美味しいコーヒーの淹れ方を追及するなど、多くの試行錯誤と努力を重ねられてきました。

射水市中太閣山
コミュニティセンター

令和7年7月に1周年記念イベントを開催し、10月末までに延べ1,204名、1回の平均利用者数39名の方々がご利用されています。今では、サークル活動終了後や町内の仲良しグループの方々など、常連さんもいらっしゃいます。

ふれあいカフェ♡をきっかけに文化祭や敬老会においてもカフェを開催し、地域の皆様のふれあいの場として今後も継続していきたいと考えています。

誰でも気軽に利用できますので、近くに来られたらお立ち寄りください。



ふれあいカフェ♡1周年記念イベントの様子

わが町の公民館活動

富山市立柳町公民館

懇親の場を求めて

柳町地区は富山市の中心部で、いたち川の東側に位置し、国道41号線や県道八幡田・稻荷線、県道富山港線など幹線道路が地区内を横断しており、古くからの住宅地と幹線道路沿いに多くの商業施設や事業所等が混在する地域です。令和7年9月末現在の人口は5,741人、世帯数は3,234世帯を数えておりますが、年々アパートやマンションが増加しております。

県道八幡田・稻荷線と市道（通称：ひまわり通り）の交差点に位置する市立柳町公民館は、平屋でさほど大きくもない公民館ですが、場所が分かりやすいこともあります。

当公民館は、市立なので、地区住民以外の方々が日々多く利用され、日中は空き時間が少なく調整が必要な状況となっております。そのなかで日頃から、地区住民の皆さんには、文化祭や園芸・手芸・料理等の各種教室などの魅力的な行事・講座を開催・企画し、親睦を深めていただくように工夫しております。

また、文化祭では、ステージでのアトラクションの他に作品展や健康展、非常食コーナー、バザーなど、文化・健康・防災等に関する各種コーナーを設け、多くの方にお集まりいただいております。

これらの他にも、いろいろな活動を通じて、今後も地区住民の皆さんのが、立場や世代、職種等を超えて集い、地域の活動拠点としてお互いの顔が分かり、寄り添える場所となるよう取り組んでいきたいと思います。



文化祭にて



朝日町立笹川公民館

令和6年度優良公民館表彰 (文部科学大臣表彰) 受賞

笹川地区は、朝日町の中心部から東南の方向に位置する、山に囲まれた小さな集落です。集落の中央には、標高1,000メートル余りの「黒菱山」を源流とする2級河川「笹川」が流れるなど、自然に恵まれている一方、人口が約200人、世帯数が約100世帯で、住民の高齢化が進んでいるのが現状です。

当館では、昭和61年に「ホタル観察会」を開始しました。そして、平成14年には、ホタルを増やすための生息池として、地区の集会施設・公民館である「共生の里さゝ郷」敷地内にビオトープを整備し、池の背面には環境学習のためホタルの案内看板を設置しました。ビオトープ内ではホタルのエサとなる巻貝のカワニナを生息させて増やし、毎年夏には池の周りにゲンジボタルやヘイケボタルが飛び交うようになりました。また、ホタル観察会も、コロナ禍の時期には一時中断したものの、令和7年度には第38回目の開催を行ったところです。また、地区の特産物である米に「ほたる米」、わさび漬けには「ほたるわさび」という名称を付けてブランド化するなど、ホタルの住む環境整備やホタルの里としてのイメージづくりについて、公民館を中心に地区を挙げて取り組んできています。

その他、夏には、地区の河川に住む生き物を親子で観察する「水中生物観察会」、秋には地区住民の作品を展示する「文化祭」、正月には地区住民みんなで新年の始まりを祝ぐ「元旦祝賀会」を開催するなど、地域の資源や人材を活用した行事に取り組んできたところです。笹川地区では昔から「一村一家（いっそんいっか）」といって、みんなが家族のように助け合って暮らしてきた伝統があります。当館としても、今後も地区の活性化のため、住民のみなさんとともに、いろいろ工夫しながら活動を続けていきたいと考えています。



「ホタル観察会」屋内で事前学習



「ホタル観察会」舞い飛ぶホタル観察



「水中生物観察会」川での生き物観察



「文化祭」地区住民の作品発表



「元旦祝賀会」みんなで新年のお祝い

おめでとうございます！ 各種受賞者・公民館を紹介します

◇令和7年度「富山県功労表彰」

◇令和7年度「富山県教育功労者等表彰」

・社会教育功労者：菅田宣雄氏（元富山県公民館連合会副会長）

・優良社会教育機関：入善町上原公民館

：南砺市北野地域づくり協議会